おぢか
議会だより

第128号　2023.10.28

注目!

地域探究発表会
高校生が提案するおぢか町!! … 2

＊表紙写真：
20kg の米袋を持ち上げるようす

北松西高生 地域探究発表会

令和５年７月 27 日、「 地域探究発表会」が本会議場で行われました。

これは北松西高校３年生が故郷小値賀町が抱える課題の現状と背景を現場を通じて分析し、解決策を議会と町に提案するもので、同時にキャリアプランニング能力※、課題対応能力を高めようとするものです。

また町政への提言を行うことにより主権者としての責任について学び、政治参加への意識を高め、一人ひとりが地域のために自ら考えて行動する住民自治の基本を身につけます。

「高校生の島ガイド」で小値賀を活性化！

写真左から
濵田愛羅（あいら）さん
岩坪果恋（かれん）さん

高校生自身が観光資源となり、観光客のガイドを務めることで、高校生ならではの視点での島の紹介や、ガイド中に垣間見える島の高校生の生活が観光客の興味にマッチすると考える。

ガイドした観光客には、お土産として高校生の手作りの「旅のしおり」や、ガイド実施後の記念写真、道中の雑談の思い出をつくることで、より鮮度の高い観光資源が生まれる。

またガイドを行う高校生自身がおぢかに愛着を感じることで、将来的な人口流出を防ぎ、担い手不足解消にも繋がる。この活動の継続ため、本町には広告・宣伝の協力と、ガイド人材育成のための小中学生を対象とした地域住民との「語り部会」の企画をお願いしたい。

小値賀の漁業を伝え隊～高校生にもできるんだギョ～

写真左から
川村聖斗（まさと）さん
橋本萌愛（もえ）さん
山田優（ゆう）さん
濵田朔羅（さくら）さん

小値賀町の魚の流通や、食卓に並ぶ回数が少ないことに問題を感じた私たちは、漁業の活性化を目指し、未利用魚※を使用した「みりょうせんべい」の商品開発に取り組んだ。

当商品の知名度を上げることで本町の漁業の魅力を伝え、未利用魚を使うことで無駄をなくし、販売して得た利益を漁協・役場・担い手公社に寄付し、漁業の活性化につなげたい。また、この活動はSDGsの「12:つくる責任」と「14:海の豊かさを守ろう」にもつながると考えている。

本町には製造の効率を高めるため、大型のミキサーとプレス機の購入をお願いしたい。また継続的に提供できるよう、企業に支援・協力をお願いしたいと考えている。

みりょうせんべい製造の様子。パッと見、簡単そうに見えるが、きれいにつくるのは非常に難しい。魚の臭みを緩和するため、カレー味にした。

実際に観光客にガイドをしている様子。
アンケートでは概ね高い評価を得ていた。

努力が実を結び、販売に至る。大好評で、なんと即日完売であった。買えなかった人も多かったと聞く。是非継続して販売してもらいたい。

地域活性化コンテスト【田舎力甲子園】では、なんと優秀賞を獲得!!
高校生自らが観光資源になるという、新たな価値観を示したと言えるだろう。

※キャリアプランニング能力
「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方について主体的に判断してキャリアを形成していく能力。

※未利用魚
傷があったり、大きさが規格外という理由で処分される魚。「未利用」魚で、「魅了」する意味で「みりょうせんべい」と名付けた。

定例９月会議

子育て支援条例の改正案「宿泊費一万円」可決！

令和５年定例９月会議を９月11日から21日まで11日間の日程で開催、上程された４件の報告事項と11件の議案についてすべて承認・可決成立しました。

９月会議は前年度の決算審査のため、通常の定例会議に加え、決算特別委員会が設置されます。互選によって選任された今田委員長のもと、横山議会選出監査委員および議長を除く、５名の委員が執行部と質疑を重ね、慎重な審査を行いました（６ページ～）。

一般質問 ４名が登壇

今回も２日に分けて一般質問を実施しました。

初日は夜間議会で午後７時より２名が登壇（12ページ～）。

２日目は午前10時より２名が登壇し、町長の考えを質しました（16ページ～）。

委員会提案どおり可決

令和５年６月会議において執行部より提案があった「小値賀町安心出産支給条例の一部を改正する条例（案）」については、宿泊費の上限額について疑義が多発したため委員会付託としていました。

執行部から提案があった、出産に備えて本土で待つ際の宿泊費上限を６０００円から８０００円に引き上げる改正案について、昨今の物価高の影響による宿泊費高騰を鑑みて、委員会では８０００円では不十分であり１万円にすべきとして本会議に修正案を提出し、可決しました。

ポイント！

①出産に備え本土で待つ際の宿泊費上限額を６千円から１万円に（食費は対象外）

②出産直後帰町する際の船賃も補助対象に追加

全会一致で可決

江川議員の賛成討論

今田議員の委員会報告

数字でわかる 本町の財政状況

～令和４年度決算～

財政状況（一般会計）

（端数処理により一部計算が合わない）

区　分	令和４年度	令和３年度	差　額	増減率（%）
歳入総額	42億9215万円	43億0520万円	△1304万円	△0.3
歳出総額	41億1821万円	40億2619万円	9202万円	2.3
差引額	1億7394万円	2億7900万円	△1億506万円	△37.7
翌年度に繰越すべき財源	2438万円	1億2846万円	△1億409万円	△81.0
実質収支額	1億4956万円	1億5054万円	△98万円	△0.6
単年度収支額	△98万円	3612万円	△3710万円	△102.7

（△はマイナスを表す）

財政の健全度を示す「健全化判断比率」の４つの指標

指　標	小値賀町	早期健全化基準※	簡単な説明
実質赤字比率	－	15.0	一般会計の赤字の割合（本町は黒字）
連結実質赤字比率	－	20.0	全会計を合わせた赤字の割合（本町は黒字）
実質公債費比率	8.5	25.0	年間の借金の返済額の割合（高いほど財政が不健全） 前年度より0.4ポイント上昇しており注意が必要です
将来負担比率	－	350.0	将来の負担となる（財政を圧迫する）借金の割合 （当町では財源見込みや基金が上回るため算出されず）

ポイント！

早期健全化基準※・・財政健全化の取り組みが必要になる要注意レベルを示す数字です

財政の力

ポイント！

財政力指数	0.10	標準的な行政サービスに係る費用を町税などの収入でまかなえる割合 指数が低い＝財源に余裕がない　全国でも最低レベルで注意が必要です
経常収支比率	81.9%	定例的な支出が 町税など定例的な収入に占める割合 75%を超えると財政的な余裕が失われているとされる 前年度より2.5ポイント上昇しています

ポイント！

自主財源と依存財源

区　分	決 算 額	割 合（%）
自主財源	9億8719万円	23.1
依存財源	33億　496万円	76.9
合　計	42億9215万円	100.0

自主財源・・町税、分担金、負担金、使用料、手数料、寄附金、繰越金、諸収入ほか
依存財源・・地方消費税交付金、地方交付税、国庫支出金、県支出金、町債ほか

基金と町債

ポイント！

基金現在高（令和４年度末）	30億2461万円	前年度より1億9741万円減りました
町債現在高（令和４年度末）	34億7445万円	前年度より5821万円減りました

基金・・家計における預貯金に相当するものです
町債・・家計における借入金に相当するものです

決算審査

【一般会計】

～決算特別委員会での主なやりとり～

監査報告

歳出の不用額が一般会計特別会計あわせて2億2千万円余りと、多額の執行残が確認された。

予定していた大事な事業が執行されないことは、住民福祉サービスに影響が出るため注意されたい。

決算特別委員会　審査のようす

歳入関連

問 返還金1300万円の内容は。

答 グループホームおぢかの家が事業廃止した時点で、施設を建設した時の国の補助が適化法の期間を経過していなかったため、町を通じて国に返還した。

問 一つの町指定文化財に対し国庫支出金と県支出金のいずれにも保存整備事業費補助金が出てくるがその棲み分けは。

答 文化庁の補助金は通常と異なり、国庫補助と県補助とそれぞれ手続きが必要となるため分かれている。

問 財産貸付収入の収入未済額の内容は。

答 空き家を改修した定住促進住宅入居者分の未納。

問 長崎県青少年劇場開催事業補助金が前年度と比較して増額している理由は。

答 総事業費に対し、県からの補助率が2分の1で、事業の実績により差が生じる。令和4年度は古典芸能を実施した。

問 水産業債6160万円の予算額に対して、調定額および収入額が4690万円。この差の内容は。

答 漁港事業の繰り越し分である。

歳出関連

スマート農業の中身は

問 農林水産業費の不用額700万円の内容は。

答 園芸ハウス長寿命化対策事業補助金で約150万円、防風対策支援事業補助金で約248万円、スマート農業振興事業を計画したが実施事業者がいなかったことによる約165万円の執行残が、不用額の主なもの。

問 スマート農業の内容は。

答 高圧の温水を利用して除草作業を行う機器の導入。除草剤を使わずに、高圧の温水を雑草の根に噴射して除草作業を行うもので、県道や農道の管理の省力化につながると考え事業化し、複数の事業者に提案したが、手を挙げるものがいなかった。

問 例えば町が保有し、多面的・中山間地域等直接支払交付金などで実施している、集落での農道の共同管理作業時などに対し、集落に機器を貸し出すことは考えていないか。

答 利用先としては集落組織も想定しているが、町が保有することは考えていない。事業者から集落に貸し出す形での事業化を考えている。

問 予算額165万円の内訳は。

答 1台の高圧洗浄機と付属品の購入費を2分の1支援する考えで計上している。

生ごみ処理機の今後は

問 大型生ごみ処理機設置工事費の不用額の原因と、今後生ごみが一杯になった場合の対応は。

答 設置を予定する場所によっては、岩盤や湧水が出て追加工事が必要となる事があるため、予算を残していた。

処理機が一杯となった場合は、2基目を設置しそちらに投入してもらい、一杯になっている処理機は閉じたまま発酵させ、たい肥として地区に還元する予定。

問 たい肥として使用できない場合の対応は。

答 先日、地区別説明会で回ったときに、ゆうきセンターで利用してはどうかと提案いただいた。今後、ゆうきセンターと検討していきたい。

問 再資源化が最大の目的との理解でよいか。そうであれば、たい肥として地区で利用できない分は、ゆうきセンターでたい肥化する等、ただの埋め立てにならないよう上手に対応してほしい。

答 本事業はゴミの減量化が目的であり、減量化は重要な課題となっているため、しっかり取り組んでいきたい。

文化財調査の内容は

問 沖ノ神嶋神社海岸下石垣・石敷平面図等作成業務および水中調査補助業務の調査内容は。

答 調査対象は小田家二代目当主が参拝のために整備した石垣・石敷で、それらの記録保存のために実施したもの。

沖ノ神嶋神社海岸付近水中調査補助業務は、おぢか海旅マリンサポートと提携し、石敷の周辺の海底にどのようなものが残っているか調査したところ、新たに中国船の碇（いかり）石と思われるものが数点見つかった。最終的に報告する。

沖ノ神嶋神社海岸下　石垣・石敷きのようす（写真提供：町教育委員会）

問 五島列島の島々横断交流拡大・移住プロジェクト事業委託料585万円の成果および令和5年度に事業を実施しない理由は。

答 周遊観光ルートとして、有川～小値賀間を、九州商船に委託して運行していた事業だが、業者の利用が多く、本来の目的である観光としての利用者が少なかったため、新上五島町と協議し令和4年度で終了した。

問 長崎おぢか国際音楽祭開催日関係補助金350万円が令和5年度の予算では250万円に減額されている理由は。

答 令和4年度は第20回の記念で通常より大きい規模で開催した。令和5年度は通常の内容となり減額となっている。

決算審査とは、予算が適正かつ妥当に使われたのかを認定するものです。
締結済みの契約などを取り消すことはできませんが、不適切・非効率なものがあれば質疑を通じて明らかにし、来年度の予算編成に反映させることができます。

決算審査

【特別会計】

～決算特別委員会での主なやりとり～

収入未済 徴収の見込みと対応策は

◆国保事業◆

問 不能欠損額285万円と令和3年度と比べて大幅に増加している要因は。

答 滞納整理にあたっている中で、未納者の状況を見ながら滞納分の徴収の見込みを総合的に判断し、最終的に不能欠損を判断している。そのため毎年状況が変わるが、令和4年度は件数も増加している。

問 不能欠損が増加している状況では、これまでの徴収方法を変更するべきではないか。

答 今回の執行停止の要因として「生活保護」という人がいるが、それまでは分納もしていたが、体調も思わしくなく、生活保護となったことで支払能力がなくなったと判断した方もいる。未納者の状況で判断している。

問 特定検診・特定保健指導費の委託料で1-9-1万円の不用額があり、何らかの検診を行わなかったのではないか。

答 令和4年度の当初予算では特定検診の国保加入者受診率を60%見込んでいたが、実績で40%程度だった。

本町の国民健康保険医療費（医療給付費）

令和4年度		令和3年度	
総　額	1人当たり額	総　額	1人当たり額
2億7218万円	34万円	2億9007万円	35万2千円

◆介護保険事業◆

問 介護サービス等諸費の負担金・補助及び交付金が令和3年度と比較して減額となった要因は。

答 主なものは、令和3年度にグループホームおぢかの家が閉所となったことで地域密着型介護サービス給付費が減額となった。

本町の介護保険医療費（医療給付費）

令和4年度		令和3年度	
総　額	1人当たり額	総　額	1人当たり額
3億1951万円	27万3千円	3億3045万円	28万1千円

本町の介護認定状況　（単位：人）

要介護状態	令和4年度	令和3度
要支援1	28	22
要支援2	33	44
要介護1	45	41
要介護2	29	28
要介護3	35	23
要介護4	28	34
要介護5	7	6

◆渡船事業◆

運賃収入増加の要因は

問 はまゆう・さいかいの旅客運賃収入が令和3年度と比較して増加した要因は。

答 はまゆうは、コロナ禍で落ち込んでいた野崎便の乗客が1200人ほど増加し収入増となっている。

さいかいについては、納島の生活航路なので観光客による増加は少ないが、コロナ禍が落ち着いたことで帰省客が増加したことと、地域おこし協力隊が活動していることも関係している。

問 はまゆう需用費において、使用料及び賃借料へ8万8千円の流用、及び予備費から3万5千円の充用を行った要因は。

答 8万8千円の流用は、6月に右舷エンジン冷却機故障により代船を傭船したところ、使用料及び賃借料が不足したため流用した。その後、3月になって燃料費が不足したため予備費から3万5千円を充用した。

◆簡易水道事業◆

使用量収入減の理由は

問 事業収入の水道使用料が令和3年度と比較して約一千万円減少している理由は。

答 地方創生臨時交付金による新型コロナ対策として、基本料金を3期分減額したことによる減収である。

本町の水道使用料と有収率※

区　分	年間総配水量	年間総有収水量	有収率
令和４年度末	255,378㌧	211,078㌧	82.7%
令和３年度末	252,781㌧	211,778㌧	83.8%

※有収率（ゆうしゅうりつ）
給水する水量と料金として収入のあった水量との比率。
漏水などによる水の損失が多いと、この比率が低下する。

◆下水道事業◆

予算の流用の理由は

問 公共下水道事業管理費から漁業集落排水管理費に90万円流用している理由は。

答 斑クリーンセンターのタッチパネルが故障し修理を行うために流用した。

斑クリーンセンター

海洋環境改善への取組は

問 昨年、宗像市の地島で、市と企業が連携して島民全員が生活に使用する洗剤を全て無添加のものを使用する実証試験が行われ、下水の処理水の水質が改善されたという結果が出ている。

当町としてそのような海洋環境の改善に繋がる取り組みは考えていないか。

答 その企業の取り組みは知っている。企業の取り組みを参考にしながら検討していきたい。

本町の下水道接続戸数・接続率

区　分	対象戸数	接続戸数	接続率
令和４年度末	1,210	948	78.4%
令和３年度末	1,223	940	76.9%

◆国保診療所◆

オンライン診療の状況は

問 一般会計で、総務費の新型感染症対策費で購入しているオンライン診療機器の内容と今後の展望は。

答 オンライン診療機器整備事業は、令和3年度からの繰越事業で、ノートパソコン2台と、タブレット4台を購入した。

利用方法としては、来院した家族が病棟に入ることなく入院患者とオンラインで会話ができるように利用している。

院外での利用はまだ行っていないが、今後は往診など院外での利用を検討していく必要がある。

◇委員からの意見◇

●町税および国民健康保険の不能欠損が多いため、町民に不公平感を抱かせないようご尽力いただきたい。

●未納については、例えば口座振替の利用やDXの推進など、仕組みを変える事も必要だと思われる。

●事業評価一覧表において、実績が上がっていないにもかかわらず、維持となっている事業があった。

●全体的に不用額が目立っており、行政サービスの質の低下を防ぐためにも、当初予算の編成に工夫が必要と思われる。

●不用額については、担当者の努力によって支出を抑えた結果の不用額もあると思われるので、経費削減努力の結果としての不用額と、それ以外の不用額がわかるようにする必要がある。

定例９月会議

一般会計補正予算

１億8241万円増額　41億9960万円に

～主なやりとり～

問 定住促進住宅の整備工事について、今回新たに建設する住宅については、これまでの定住促進住宅にはあった3年間の居住期間の制限が無く、何年でも住むことができる。このことについて、これまでの住居者と不公平感が生じるのでは。

答 これまでの定住促進住宅は、3年経過後に転居する住居が無い事例が発生し課題となっていた。このニーズに応えることができるよう、今回、制限なしの住居を整備する。

問 今回整備する住宅は単身者向けだが、町長のマニフェストにもあるように子育て支援を中心に考えるならば、ファミリー向けの住宅を定住促進住宅として整備する考えはないか。

答 移住者の割合は今のところ単身者が多いため、単身者を優先している。家族向けについては、町営住宅を町有住宅として活用し、家族向けに貸し出すことを検討している。

問 新たな放牧体系促進補助金として100万円補正計上されているが、内容は。

答 肉用牛繁殖経営のコスト縮減と省力化を目的とし、増頭推進に向けた放牧場の整備・補修改修、ICT機器を活用した放牧場の管理、畜産農家と集落組織の連携により集落保全を図る事業である。

定住促進住宅の建設予定地
2戸連、3戸連を1棟ずつ
合計5室　建設予定

こども園の改修工事は

問 こども園の改修工事費として5290万円補正計上されている。今回の工事で床下に水が溜まる原因は解消されるのか。

答 老朽化調査は専門業者により実施し、前回の改修工事でも携わっていただいた業者に詳しく見てもらっているので、今回の床下漏水の原因については間違いなく特定できているものとして進めている。

問 3月の卒園式に間に合わせるのは難しいのでは。

答 急いで工事を行うことも大事だが、急いだがゆえに同じ不具合を繰り返しても良くないので、卒園式に間に合わない場合はどうするかも検討を進めている。

問 今回の改修工事を含め、これまでこども園の改修工事にかかった費用は1億円を超えている。今後のこども園のあり方はどのように考えているのか。

答 用途は限られるが、放課後児童クラブや福祉センターの2階で行っている取り組みは、こども園でも転用可能と考える。

　また、高齢者の介護予防の教室なども利用可能と考えるが、今後、住民の方々と協議しながら、多機能建築の議論を進めていきたい。

こども園の状況（改修前）
床下の湿気で変形していた
床板を撤去した状態

特別会計補正予算

渡船事業	161万円減額	8839万円に
国民健康保険事業	1016万円増額	4億8496万円に
後期高齢者医療事業	241万円増額	5671万円に
介護保険事業	2394万円増額	4億2324万円に
国民健康保険診療所	600万円増額	5億1290万円に

～主なやりとり～

渡船事業

問 はまゆう運航費の財源組み換えの理由は。

答 はまゆうエンジンオーバーホール整備工事の財源として、当初、起債で計画していたが、県のヒアリングで単なる維持補修では起債対象外と判断されたので、一般財源に組み替えた。

診療所

問 旧診療所を工事業者に貸与するため、不用品を廃棄するとのことだが、今後どのような予定か。

答 9月中に工事業者が打ち合わせに来町予定。改修工事を行うため、実際に利用が開始されるのは来年度と予測している。

改修工事費用は全額工事業者が負担するが、大きな改修費となるため、不要品の廃棄費用は町が負担することとなり、600万円予算計上した。

問 旧診療所を貸して欲しいという業者がいるかいないか関係なく、廃棄する費用はもともと必要だったのか。

答 その通りだ。

問 正式契約はいつごろか。契約内容は議会も目を通して検討しないといけないと考えるが、どうか。

答 現在は改修工事の設計の承認申請中。正式契約はその後となるが、契約する場合は議会にも報告する。

執行部の皆さんも大変お疲れさまでした

診療所の人工透析導入について

患者救済のため本町で人工透析ができないか　町長の考えは！

来年度の国への要望で　人工透析導入を訴えたい

森岡 正雄議員

本町の人工透析患者は2日に一度、高速船で往復3時間、フェリーなら往復約6時間半をかけ佐世保に通院しており、医療費・渡航費・宿泊費の補助はあるものの、心身の負担は相当なもので、時化や台風で船が欠航となれば、不測の滞在を強いられることもあり、非常に大変な思いをされている。

また、現在健康に暮らしている町民も、透析治療が必要となる可能性が全くないとは言えず、将来的な患者救済も含めて、本町で透析治療を受けられるようにしていただきたい。

仮に、診療所で4名の透析患者を受け入れた場合、年に約2000万円ほどの利益が見込まれる。

また、本町の令和5年度の予算では、透析患者の渡航費・宿泊費の補助として480万円が計上されており、臨床工学技師や透析室看護師の人件費を差し引いても、町長の決断次第で実現可能だと考えている。

人工透析の導入により、常勤の医師や看護師を増やすことができれば、町長が掲げる行政運営の5本柱の一つである「医療体制の充実」にもつながると同時に、透析治療のため本町への観光や帰省をあきらめている方々の願いもかなえることができる。

また、宇久町の透析患者も通院でき、時化等で宿泊となれば、宿泊業や飲食業に少なからず経済効果も生まれる。

さらに、夜間透析が可能になれば、就労意欲のある患者さんには日中お仕事に励んでいただける。

以上のことから、人工透析を導入する価値は十分にあると考え、町長に問う。

人工透析導入は可能なのか

問 診療所に人工透析を導入すると、どのような問題があるか。

答 ソフト面では「医療人材の確保」が問題である。

病床2床で行う場合、看護師2名が必要となり、透析知識・技術の習得のため、6か月の研修が必要である。

また患者の容体が急変した場合に備えるため、最低5名の看護師増員が必要となる。

次にハード面では「透析設備の導入」の問題がある。

設備を導入するには、場所の確保と、機器のメンテナンス体制の確保が必要となる。

透析設備は「透析装置」・「RO装置」・「排水装置（浄化槽）」※①が必要となり、設置場所は1階病棟西側の食堂兼休憩室が考えられる。

機器のメンテナンス体制の確保については、臨床工学技師が行うか、専門の業者に委託するかの2つの方法がある。

小規模の透析設備ではメーカー対応となるが、緊急時の対応が困難となる懸念がある。

医療機器は高額なのか

問 医療機器の費用や人件費はどの程度かかるか。

答 医療機器の概算額は、約2000万円となる。

また人件費として、看護師5名増員と臨床工学技士1名増員した場合、年間概算額で約3000万円必要となる。

診療所の利益はあるのか

問 人工透析導入による診療所の利益はどの程度見込めるか。

答 患者1人あたりの診療費が1か月約40万円として、年間約1920万円の診療報酬収入が見込まれるが、人件費が約3000万円であると考えるので、診療所として利益を見込むのは困難である。

宿泊費増額の考えはあるか

問 昨今の物価上昇に伴い、ホテル料金も増加の一途をたどっている。現在通院に伴う宿泊費は、上限6000円の4分の3補助となっているが、補助の増額の考えはないか。

答 現在の宿泊料金に合わせ、人工透析患者通院費補助金支給条例の見直しを検討する。

これからは国にも支援を訴える

問 本町の透析患者のおかれた状況は、日本国憲法 第25条※②に抵触しているように思う。人工透析導入について国に陳情や相談をしたことはあるか。

答 これまでにそういったことはしていない。

問 町長は診療所の常勤医師2名体制を目指しているが、何年後に実現しそうか。

答 本年度中には1名の常勤医師を確保でき、常勤医師2名体制となる。

人工透析導入については、人材確保などの面からも2～3年はかかると考えている。

問 患者さんには70代の方もいる。体力が衰えて自力で通えなくなると、移住するしか選択肢がなくなる。

答 離島振興協議会と過疎地域促進協議会において、国政要望をする機会がある。

来年度になるが、離島における医療体制として人工透析を要望したいと思うが、現時点で導入の約束はできない。

※① 【透析装置】…人工腎臓。血液透析では週に3回通院しなくてはならない。
【RO装置】…透析装置で使う水を綺麗にする機械。
【排水装置】…透析装置から排出される、酸性度の高い水を中性にする機械。

※② 日本国憲法 第25条
すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
国は、全ての生活部面について、社会福祉、社会保障、及び公衆衛生の向上、及び増進に努めなければならない。

～質問を終えて～

4月の統一地方選挙に出馬をすると決めた時から、本町の人工透析導入に取り組むと心に決めていました。

そう思うきっかけとなったのは、今年2月に私がよく知る透析患者さんが、佐世保鯨瀬ターミナルにおいて突然意識を喪失し頭部を強打、懸命の治療も空しく亡くなるという大変痛ましい事故があったからです。

私は、政治とは命を守ることが最優先事項だと考えています。国政であれば国民の、県政であれば県民の、町政であれば町民の命を守る。

もう2度と、同じ悲劇を繰り返してはならないのです。

低廉化、役場職員数について

本町の抱える様々な問題について　町長の考えは！

これからも積極的に取り組みたい

江川 春朝議員

最終処分場 及び ゴミ焼却炉について

本町では焼却炉の新設を行わず、燃えるゴミを新上五島町へ、家屋廃材は佐世保市へと島外搬出を行っているが、町民の多くは納得しておらず、町長の説明を求める。

問 家屋廃材の島外搬出の費用としての6000万円は、今後も毎年かかるのか。

答 今年度の予算で、最終処分場に仮置きしている家屋廃材はすべて処分する計画なので、今年度のような高額な費用はかからない。

問 ゴミ焼却炉を新設しない理由は。また、新設した場合と島外搬出の費用面の説明をお願いする。

答 令和15年までの11年間の総費用で新設した場合は約28億7000万円、施設の延命化で約20億7000万円となるが、新上五島町への処理委託は約5億2000万円となる。

結果として、ゴミ焼却場の新設費用は年間の維持管理費も含めて、新上五島町への処理委託費用の5倍以上を要するため、可燃ごみの島外搬出に至った。

焼却炉の新設を 国の補助でやれないか

問 高齢者の多い本町は、分別も難しくストレスになっている。

また、草木が燃やせなくなったことで、指定のごみ袋にいっぱいの草を入れて燃えるゴミに出している方も多くいる。

焼却炉新設の費用は国の補助をお願いしてもいいのではないか。そもそもゴミ処理の広域化も離島ゆえの多額の費用がかかっている。

ゴミや環境問題も手を抜かず一生懸命考える姿勢が町の魅力アップにつながると思う。

答 本町のゴミを他の市町村で処理してもらうのはたいへん心苦しいが、国からも県を通して広域化を図るようにと再三言われている。

広域化については平成29年度から協議され、議会でも承認されたことであり、島外搬出には了承いただきたい。

ゴミ問題、男女間格差、船賃

男女間格差について

問 6月定例会の一般質問の際、ジェンダーギャップ、男女間格差問題についての質問に対し、町長の答弁で「今後の役場職員は男女関係なく実力で登用することとし、男女共同参画計画を策定し、男女共同参画社会づくりに向け推進していく」とあったが、その後4か月の取り組みを聞く。

答 本町の各種委員について、高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画策定委員においては、前回の女性委員比率は20％だったが、今回14名中7名の女性委員を選任し、比率は50％となっている。

診療所運営協議会委員においては、前回の女性委員比率は16・7％だったが、今回6名中2名の女性委員を選任し33・3％となっており、女性委員の構成比率の向上へ推進している。

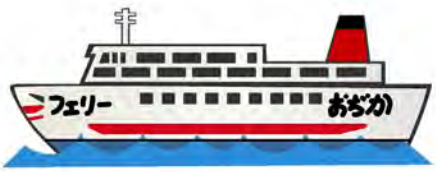
今後も、女性が意見を発しやすい環境づくりに配慮していきたい。

船賃低廉化について

問 議員6名で九州商船本社に赴き、社長はじめ、役員の方々と協議し要望をしっかり伝えてきた。その後、フェリー、高速船の運賃低廉化に向けた本町の取り組みを聞く。

答 7月13日に、航路運賃低廉化の担当部局である内閣府総合海洋政策推進事務局に対し、航路運賃の現状を説明し支援をお願いした。

また、県の離島振興協議会、過疎地域協議会の国政への要望書を作成しており、10月に国土交通省へ要望する。



役場の職員数について

問 小値賀町役場は人手不足なのか。また、正職員と会計年度任用職員の合計は何名くらいが適正と考えているか。

答 本町職員は定数条例では105名となっているが、令和5年8月1日現在、84名で定数から21名少ない状況だ。

経験豊富な職員の退職に加え、近年のIT進化による専門的知識、人口減少問題、超高齢化問題、子育て支援、さらにはコロナ問題と様々な課題があり、職員が対応できていない現状だ。

適正な人員数については、現在よりも10名ほどは確保したいと考えている。

なお、職員1名と会計年度任用職員1名が同様ではないので、正確な人数についての判断は難しい。

～質問を終えて～

私の一般質問は、町民のみなさんの声、そのままであり、みなさんの普段の会話、そのものです。

その中でも、町長や役場に、「面と向かって言いにくい、町民の本音」を直接伝えることが、私に課せられた唯一の使命であり、一番大切なことだと思います。

机上の空論ではなく、勇気さえあれば誰でもできます。その勇気を、みなさんに与えられ、背中を押して頂いているからこそ、今の私があります。今後もビシバシよろしくお願いします！

医師住宅の新築について

建築費があまりに高額すぎる　空き家を活用できないか！

急な呼び出しに対応するため　近隣地に新築が最善

今田 光弘議員

医師住宅を2棟新築することにつき、3月に行われた令和5年度当初予算を決める予算特別委員会において、小値賀町健康国民保険診療所特別会計予算は賛成多数で本会議にて成立したが、執行部は町長の独任制である以上、議会としてしっかり監視することが二元代表制の基本であることから、本件について改めて町長の考えを伺う。

何故ここまで高額になるのか

問 昨年度、医師用の住宅建設を事業費約8000万円で予算化しており、財源は地方債が3070万円、国民健康保険給付費等の交付金や辺地債などが4923万円。

一般財源は6万円余りということだったが、建設資材の高騰などを理由に3月議会で減額補正をした。

1棟33・3坪で4000万円、坪単価120万円余りとなり、もう少し床面積を減らすなどの工夫があれば、予算内での建築は可能だったのではないか。

答 実施設計を行う中で、予算額8000万円に対し、一億円超の金額が見込まれ、また今後においても資材の高騰、建築単価および人件費等の上昇が見込まれることから、令和4年度予算での実施は不可能と判断し、令和5年度当初予算で計上するに至った。

問 医師住宅建設事業に新たに1億1200万円の予算が提示された。

昨年度より3200万円の増額だが、27坪と27・2坪で5600万円となり坪単価205万円超となる。

昨年度の計画では坪単価120万円余りであり、坪単価205万円超はあまりに高すぎないか。

答 作業員の人件費や、建築資材の高騰が見込まれていること、また上下水道の配管工事について、流水勾配の関係で延長が伸びたことなどが主な原因だ。

医師住宅建設予定地

新築である必要はあるか

問 現在、医療保険職員住宅に住む常勤医師などに、新築でなければいけないのか相談をしたか。

答 関係機関などに相談している。医師自身の健康などのためにも必要で、受け入れ態勢の基盤として住環境整備は重要と考え、新築住宅の整備を実施したい。

旧医師住宅

空き家のリフォームはどうか

問 住宅の確保は絶対条件であるが、町内に散見される空き家をリフォームしたほうが、重要文化的景観区域を擁する本町の方向性にあっているのではないか。

答 医師は急な呼び出しなどに対応する必要があるため、隣接地に住居を整備することが望ましいと考え、新築住宅の整備が必要である。

問 旧診療所の横に医師住宅が2棟あるが、リフォームをして再び医師住宅として利用するのはどうか。

答 現在、1棟は貸家として利用されており、もう1棟は長崎大学医学部の学生や、島外からの医療スタッフなどの誘致のため月2回ほど利用している。

今後も短期的な受け入れ先として活用していきたいと考えている。

税金の無駄遣いは許されない

問 令和4年度の実質公債費比率は8.5%で、数年後には12%になる。

過疎債を利用すると本町の負担は少なくなるが、その分、国民の税金をたくさん使っている訳だが、本町さえよければいいという考え方は避けなければならない。そういう意識感覚は持っているか。

答 国においても過剰投資にならないよう調整をしている。

過疎債で適用できるものは過疎債を使い、辺地債で対応できるものは辺地債を使うことで、一般財源を減らす努力をしている。

今年や来年で終わる債務もあり、公債費比率は上がり続けるものではないので心配はない。

～質問を終えて～

医師住宅を2棟建てるのに1億2千万円。管路工事などを除いても建物の坪単価がおよそ160万円とのことで、これを高いとは思わず妥当な金額だと言い切った答弁に驚きました。

またこの先、公共施設の老朽化が進んで維持管理費が増えていくにもかかわらず、古い施設を壊さず新しい施設を増やしていくことに、とても大きな不安を感じます。

避難所のあり方について

避難所整備について問う！

指摘の点に関しては 参考にし検討する

立石 光助議員

近年、自然災害のリスクが増え、本町も例外ではない。3年前の台風においても実感していると思う。

現在、町の指定避難所は、若者交流センターとセミナーハウス、福祉避難所は福祉センターで、それ以外は全て体育館である。体育館への避難を基本とすると、距離、空調、感染症対策、要配慮者の移動等、様々な課題がある。

3年前の台風以降、簡易クーラーやベッド、間仕切り等購入され、住環境は改善された。だが、大型避難所が安全安心で最適とは言えない。要配慮者の方の中には、遠慮し避難しない方もいる。仕事などで避難が遅れてしまい避難する時には既に危険な状況の場合や、避難先の環境が嫌で避難をためらう方もいる。

仮に自宅が被災した場合、避難所から自宅を復旧する事になるが、車を所有していない場合などは移動が負担となり、復旧に時間がかかる。更に、避難所の運営を担っている役場職員の方々にも大きな負担がかかっている。

以上より、体育館への集中避難より、各集落ごとに避難できた方が安全面のみならず、様々な面でメリットがある。

まず、地域避難所は地域住民で運営するようになるため、役場の負担減から職員は家族を守る行動が取り易くなる。

また、身近な方々同士なので一緒に避難行動も取りやすい。しかも、地域コミュニティは、災害対応能力と綿密な関係がある。

阪神淡路大震災では、住民による救助数は、警察、消防、自衛隊の救助数の約3倍だった。

また、国交省の意識調査では、UIJターン移住者の、約30％は自然災害のリスクの低さを居住地の魅力としている。

集落単位の避難所があれば、安全が増し、心身ともに負荷が減り、地域コミュニティの強化、人口流出の予防、更には移住者増にも繋がる。

やはり、大規模避難より、集落単位の避難体制の方が、本町存続に非常に重要だと考え、町長に2点質問する。

集落単位の避難所整備を

問①本町国土強靭化地域計画に、「住民、地区住民センターなど、地域ごとに身近に避難できる避難所の整備を進め、地域の防災拠点としての役割を果たせるよう、開口部の暴風対策工事等、改修を実施する。」とあるが、総合体育館の耐震補強等に大規模な予算を投じるよりも、計画に記載どおり地区住民センターなどの防災力強化に予算を充てるべきではないか。

問②地域ごとに安全な避難場所の整備が優先との考えから、各消防団詰所に避難所の機能を持たせ、整備してはどうか。

答元の体制が整っている場合は、開口部補強等の防災性向上整備を行った上、「地域避難施設」に加えることは可能

である。他の公共施設の整備状況等も踏まえ、今後検討していく。

消防の詰所単位に避難所機能を持たせることは、避難所の全体的な考え方からして、できない。

しかし地区住民センターの防災性向上を合わせ、一体的な整備を考える必要はある。

問 3年前の台風の時、総合体育館に188人が避難した。

今はスポットクーラーやベッド等準備はあるが、人数に合わせクーラーの稼働は現実的に不可能で、約20台もの発電機が必要になる。

集落規模の場合だと発電機は2台程度。更に雨水タンク・浄化フィルター・バイオトイレの導入費用は50万円程で、地区資金でも十分賄える。やはり集落ごとの方が最適だと考える。

答 それが理想だが、当町の行政力、住民の防災力を考えると現状では不可能だと思う。

今は、体育館等大きい施設利用を中心に考えているが、地区会等が避難所を開設し運営ができるのであれば、開口部等改修する計画はある。

まずは地区会の運営能力を高める必要がある。

様々な施設と連携し 多様な避難所整備を

問 地区から町に避難所申請を出し、町が証明書を発行、登録し、支援物資などが届く「届出避難所」制度が全国にあるが、考えているか。

答 運用運営が可能な集落は、集合避難よりも、集落避難の方がいい。そこには、やはり施設の整備等も必須である。

問 届出避難所以外にも、利用できるリソースはある。災害時に民間宿泊施設と連携協定を結んでいる自治体もある。

集落ごとの整備が予算の都合で難しい場合、その連携も手だと思う。

答 行政力の関係上、範囲拡大には躊躇している。

宿泊施設には自らの判断で泊まっている方もいる。

町と宿泊施設が連携すると、環境面からもそちらに避難が偏り殺到するおそれもあり、行政としては難しいが、将来的なことを考えると必要なことなので検討したい。

問 連携協定を結ぶと、自助で宿泊施設に避難する方の負担軽減にもなる。

福祉避難所は福祉センターだけだが、高齢者が増える中、福祉避難所は高齢者、体が不自由な人、子ども連れの人たち等、大規模避難所に行きにくい人が利用できる福祉避難所が足りなくなると感じる。

こども園は子どもを持つ人の避難所として最適であるし、図書館も同じである。さまざまな施設と連携し、福祉避難所の整備も必要だ。

答 福祉避難所にこども園や小中学校を指定していない理由に、教育が滞るという点がある。

しかし今後、指定避難所、福祉避難所を考える時、参考とし検討する。

～質問を終えて～

人々がそこで住み続けたいと思うためには、安全に安心して暮らせることが大前提です。

３年前の台風９号 10 号襲来の際、「もうここには住むことができないかも・・・」と一瞬でも思われた方も少なくないと思います。普段あまり意識することはありませんが、この安全の上に私たちの生活や仕事・教育が成り立っています。絶対安全ということはまずあり得ませんが、リスクを減らす努力は最大限すべきですので、地域の方々からのご意見・ご要望をたくさんお聞かせください。お待ちしております!!

避難所のようす（総合体育館）

町内のいろいろな工事などのようす

町道唐見崎線災害防除工事

請負：㈱友建設
金額：2018 万円
工期：令和５年 10 月

町道唐見崎線の法面（のり）の工事は今回の工事で完了の予定。

大島分校体育館改修工事

請負：㈱友建設
金額：１億 1770 万円
工期：令和６年２月

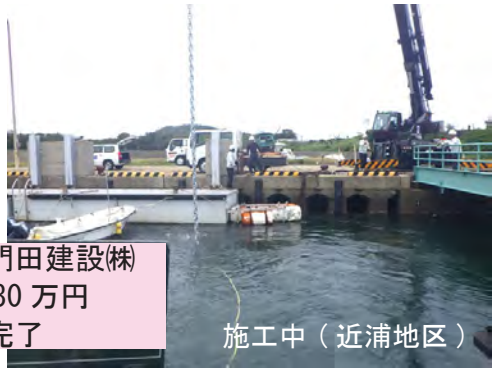
農業用施設災害復旧工事

請負：㈱細川建設
金額：206 万円
工期：令和６年２月

防火水槽改良工事

請負：細川建設㈱
金額：1468 万円
工期：令和６年２月

前方漁港浮桟橋補修



請負：門田建設㈱
金額：330 万円
工期：完了

～日ごろから現地に出向き、状況の把握に努めています～

最終処分場家屋廃材島外搬出業務委託

１工区：（有）出口建設
金額：1067 万円

２工区：㈱細川建設
金額：1069 万円

３工区：㈱友建設
金額：1068 万円

3業者が同時に入って効率的に作業を行います。
搬出先は佐世保市内。
早ければ年内にも更地に戻る予定です。

農地災害復旧工事

笛吹郷地内の3か所の災害復旧工事です。

請負：㈱細川建設
金額：289 万円
工期：令和５年 10 月

その他の主な事業

事業名称	請負業者名	金額	予定工期
町道野崎本線道路改修工事（その 2）	㈱友建設	462 万円	令和５年 10 月
浜津漁港機能増進工事（その 2）	㈱九電工	396 万円	令和６年２月
区画線改修工事	長星安全産業㈱	197 万円	令和５年 10 月
空港トンネル改修工事（その 1）	㈱九電工	95 万円	令和５年 10 月

農協倉庫整備支援事業

国補助 1/2 以内
補助残額の 1/2 以内
を町が補助

新規就農者牛舎整備支援事業

牛舎整備の 1/2 以内
の支援
対象＝２経営体

今年の夏は楽しい行事がたくさんありました!!

おぢか夏祭り大会

4年ぶりのフル開催となった第41回おぢか夏祭り大会。

子ども達による和太鼓、ちかはな&北松西高校吹奏楽部による演奏、みんなで盆踊り、そして歌手タナカ ハルナさんのコンサートと、4年ぶりの夏祭りは大大大盛況でした。

タナカ ハルナさんの美声に酔いしれる皆さん

ちかまるくんも来たよ!

中高生合同体育祭

スカッと晴れた青空の下、久しぶりに観客の入場制限のない中高体育祭でした。

多くの来賓、保護者、関係者、観客の皆さんが見守る中、アツい戦いが繰り広げられました。高校3年生は良い想い出となったことでしょう。

中高校生みんなで力を合わせて応援合戦

躍動感溢れる跳び箱

北松西高校文化祭

体育祭が終わってホッと一息。とはいかず、今度は文化祭です。生徒の皆さんは大変な思いをされたことでしょう。

大きな行事が次々と終わり、いよいよ3年生は新たな旅立ちの準備に突入です。

夢に向かって頑張って!

3年生有志によるバンド演奏

2年生による劇

こどもでじまはく

総合運動公園体育館に所狭しと並べられたたくさんの遊具に、おぢかっ子たちは大喜び!時間を忘れて遊びまわっていました。

たくさんの子ども達の笑顔を見て、町で予算を立ててでもやるべきだと思いました。

0~2歳児向けのかわいい遊具もありました

初めてのカートに大興奮!

突撃取材！シリーズ14

～電気工事を通して暮らしを支える～

「（有）立石電業」立石 通（とおる） さん

起業や事業拡大などで雇用の場を増やす取り組みをする意欲がある人に、国・県・町が補助金を出す雇用機会拡充事業も8年目を迎えました。今回は令和３年度採択の立石電業さんに突撃しました。

事務所は笛吹商店街の本通り沿いにあります

災害復旧などにも幅広く利用してほしい

長年、佐世保での電気工事の経験と実績を積まれてきた立石さんは、令和元年にUターン。同年9月に立石電業の小値賀事業所を笛吹商店街にある旧・おーがにっくの空き店舗を利用して開業し、これまで街灯やテニスコートのナイターなどの更新、北松西高校体育館の照明LED化工事や、個人宅の電気工事などを請けてこられました。

令和3年度にこの事業を使って高所作業車を導入。危険が伴う高所での電気工事だけでなく、台風通過後の折れた木枝の片付け等幅広く利用していただきたい、とのことです。

適正価格で落札されることが重要

公共工事における一般競争入札では、不当に安い価格での落札、所謂ダンピング（不当廉売）対策として最低落札価格を定めている市町村が全体の8割となっています。小値賀町では予定価格が一千万円以下の場合、最低制限落札価格が設定されていません。

このことについて、立石さんは「利益を度外視した、あまりにも低い価格で落札が行われると、適切な給与や福利厚生を提供できない」と問題視されています。

また、今後については「同業の事業者が複数あるほうが市場のバランスを健全に保つためには良い。今後は後継者を雇用・育成し、事業拡大したい。島民だけでなく島外からの移住者も、電気工事に興味のある人がいたら、積極的に採用していきたい。」と語ってくれました。今後も町の暮らしを支え続けて頂きたいです。

雇用機会拡充事業で導入した高所作業車

注目！

みんなの意見箱

設置しました！

記入用紙はこちら！

この意見箱は小値賀町議会が設置したもので、みなさんの町政に関するご意見を広くお聞きし、それをもとに政策を立案、執行機関への提案を行うことで、住民の福祉を増進させることを目的としています。

※町が所管していないことに関するもの、公共の福祉に反するもの、議員及び小値賀町職員に対する苦情は、意見としては取り扱わず、議会事務局にて保管のみとさせていただきます。

※用紙の回収は定期的に議会事務局職員にて実施し、ご意見の内容は議員全員で確認させていただきます。

※今後、設置場所や数は変更する可能性があります。

3箇所設置！

こども園玄関

診療所玄関

役場玄関

小値賀町議会 Facebook

小値賀町議会 YouTube

「ギカイの窓」も開いてます！

電話 0959-56-3111 役場内議会事務局
メール gikaisodan@town.ojika.lg.jp

編集後記

先日行われた令和5年9月会議では、新人議員は初の決算特別委員会を経験しました。

「議員必携」には、「決算審査は、議会が決定した予算が適正に執行されているか審査し、その効果を測定し、住民に代わって行政効果を評価する、きわめて重要な意味がある。また、審査の結果は後年度の予算編成や行政執行に活かされるべき（一部略）」と示されています。

この意識を持ち、先輩議員に教えていただいた審査のポイントに基づいて、令和3年度決算・令和4年度決算・令和5年度予算・成果報告書など、膨大な資料を右往左往しながらチェックを行い委員会に臨みました。しかし、頭の整理が不十分で、トンチンカンな質問をしてしまったり、質問を深めることができなかったり…。

この反省を忘れず、町の発展のため住民の代表としてしっかりと審査効果の評価をできるよう、今後の活動に臨みます。（副委員長・立石光助）

編集　小値賀町議会広報常任委員会　｜　発行責任者　小値賀町議会議長